国営南紀用水二期土地改良事業（国営流域治水対策）によって造成される施設の予定管理方法等を記載した書面

国営南紀用水二期土地改良事業（国営流域治水対策）によって造成される施設の予定管理方法等

1　管理者

この事業によって造成される土地改良施設は、南紀用水土地改良区が管理する。

2　管理すべき施設の種類

（1）　貯水池

名称	島ノ瀬ダム			位置	左岸　和歌山県日高郡みなべ町東神野川黒松向 右岸　和歌山県日高郡みなべ町東神野川黒松					備考
堤体	型式	流域面積（km^2）		堤高（m）	堤長（m）	堤体積（千m^3）	基礎地盤地質	貯水量（千m^3）		
		直接	間接					総貯水量	有効貯水量	
	重力式コンクリートダム	29.4	－	44.5	131.5	87	砂岩,頁岩	3,070	2,480	
洪水吐き	型式	洪水量（m^3/s）		取水施設	型式	取水量（m^3/s）	放流施設	型式	放流量（m^3/s）	
	越流型	1,390			斜樋式（地山設置型）	0.850 （農業用水 0.700 貯留制限 0.150）		ジェットフローゲート	0.850 （農業用水 0.700 貯留制限 0.150）	

（2）　頭首工

名称	辺川頭首工				位置	左岸　和歌山県日高郡みなべ町東本庄畑ヶ谷 右岸　和歌山県日高郡みなべ町東本庄一セ川			備考
型式	堤高（m）	堤長（m）			取水位（m）	取水量（m^3/s）	附帯施設		
		固定部	可動部	計					
フローティングタイプ半可動堰	1.3	43.3	12.5 （土砂吐き B12.5m×H1.3m×1門）	55.8	26.8 （取水門 B1.8m×H0.9m×1門）	0.700	魚道		

（３）　揚水機

名称＼項目	位置	揚水量 (m^3/s)	揚程（m）		揚水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 (kW)	台数 (台)	
岩代揚水機場	和歌山県日高郡 みなべ町谷口片山	0.235	233.8 233.8 188.3 188.3	210.0 210.0 181.2 181.2	渦巻型	150 200 100 125	1 2 1 2	電動機	150 250 55 110	1 2 1 2	
東本庄揚水機場	和歌山県日高郡 みなべ町東本庄風早	0.203	167.7 167.7	164.8 164.8	渦巻型	150 200	1 2	電動機	132 220	1 2	
芳養･熊岡揚水機場	和歌山県田辺市 中芳養	0.262	176.5 176.5 158.0 158.0 217.6 217.6	148.2 148.2 140.2 140.2 207.5 207.5	渦巻型	80 125 80 100 125 200	1 2 1 2 1 2	電動機	45 75 37 75 132 220	1 2 1 2 1 2	
芳養第２段揚水機場	和歌山県田辺市 中芳養上井	(0.105)	180.0 180.0	169.0 169.0	渦巻型	125 150	1 2	電動機	75 132	1 2	(　)は芳養･熊岡揚水機場と重複で内数
東岩代揚水機場	和歌山県日高郡 みなべ町東岩代古池	(0.065)	44.6	42.2	渦巻型	125	2	電動機	30	2	(　)は岩代揚水機場と重複で内数

3　貯水、放流又は取水に関する基本的事項

（1）　貯水池

①貯　水

農業用水を取水するため、二級河川南部川水系南部川に造成した島ノ瀬ダムにおいて、河川自流を一部貯留する。

②放　流

二級河川南部川水系南部川を経て辺川頭首工からの通年の取水を可能とするため、最大0.700m^3/sの放流を行う。

（2）　頭首工

辺川頭首工は、通年のかんがい期間において取入水門ゲートの開度調整により取水を行うものとし、最大取水量は 0.700m^3/sとする。

なお、洪水時には、自動転倒により土砂吐ゲートを倒伏させ放流するものとする。

（3）　揚水機

岩代揚水機場は、通年のかんがい期間において、用水需要に応じてポンプ３台の稼働台数を調整することで揚水量を制御し、高田山ファームポンドの水位レベルによりポンプ設備の運転を行い配水するものとし、最大揚水量は0.235m^3/sとする。

東本庄揚水機場は、通年のかんがい期間において、用水需要に応じてポンプ３台の稼働台数を調整することで揚水量を制御し、東本庄ファームポンドの水位レベルによりポンプ設備の運転を行い配水するものとし、最大揚水量は0.203m^3/sとする。

芳養・熊岡揚水機場は、通年のかんがい期間において、用水需要に応じてポンプ各３台の稼働台数を調整することで揚水量を制御し、芳養ファームポンド及び熊岡ファームポンドの水位レベルによりポンプ設備の運転を行い配水するものとし、最大揚水量は0.262m^3/sとする。

芳養第２段揚水機場は、通年のかんがい期間において、用水需要に応じてポンプ３台の稼働台数を調整することで揚水量を制御し、芳養ファームポンドの水位レベルによりポンプ設備の運転を行い配水するものとし、最大揚水量は0.105m^3/sとする。

東岩代揚水機場は、通年のかんがい期間において、用水需要に応じてポンプ２台の稼働台数を調整することで揚水量を制御し、東岩代ファームポンドの水位レベルによりポンプ設備の運転を行い配水するものとし、最大揚水量は0.065m^3/sとする。

4　管理に要する費用の概算及びその負担の方法

（1）　費用の概算

区分 / 名称	年当たり費用		計	10ａ当り年間負担額	備　考
	施設管理費	水管理費			
	千円	千円	千円	円	
島ノ瀬ダム	2,526	4,596	7,122	499	関係受益面積　1,428ha
辺川頭首工	224	2,121	2,345	164	関係受益面積　1,428ha
岩代揚水機場	12,361	703	13,064	2,762	関係受益面積　473ha
東本庄揚水機場	4,981	621	5,602	1,347	関係受益面積　416ha
芳養・熊岡揚水機場	7,248	798	8,046	1,493	関係受益面積　539ha
芳養第２段揚水機場	2,807	317	3,124	1,440	関係受益面積　217ha
東岩代揚水機場	825	193	1,018	783	関係受益面積　130ha

（費用は令和６年度単価。ただし、物価変動により将来変動することがある。）

（２）　負担の方法

南紀用水土地改良区は、定款の定めるところにより、本事業の施行地域内の農用地につき地積割を基準として賦課徴収する。

５　その他管理方法に関する基本的事項

（１）　貯水池の管理については、管理規程を定め、島ノ瀬ダムの操作、保全及び水利調整にあたる。

（２）　頭首工の管理については、管理規程を定め、辺川頭首工の操作、保全及び水利調整にあたる。

（３）　揚水機の管理については、操作規程を定め、岩代揚水機場、東本庄揚水機場、芳養・熊岡揚水機場、芳養第２段揚水機場及び東岩代揚水機場の操作、保全及び水利調整にあたる。